

Ⅲ. 調査票（アンケート）

町内にお住まいの 若者・子育て世代の皆さんへ 【アンケート調査ご協力のお願い】

皆さまには、日頃より町行政の推進にご協力いただき、ありがとうございます。

栗山町では、毎年人口減少が続き、特に、これからのまちづくりを担う若者・子育て世代の減少が著しいことから、町内にお住まいの若者・子育て世代の方々に、**結婚・出産の意識、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）や家計の状況**などについて、アンケート調査を実施することといたしました。

お答えいただいた内容は、**少子化対策や定住促進に向けた施策づくりの基礎資料**として活用させていただきます。無記名方式で統計的に処理をいたしますので、個人が特定されることはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年5月 栗山町長 椿 原 紀 昭

■ ご記入にあたって ■

■ 質問には、**ご本人（封筒のあて名の方）**がお答えください。

■ 設問ごとに、1・2・3・・・の数字に○をつけてください。

「その他」とお答えの場合は、お手数ですが、（ ）内にその具体的内容をご記入願います。（設問によっては、複数回答や数字・文字の記入がございます。）

■ ご記入いただいた調査票は **5月29日（金）**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、栗山町役場あてに返送してください。

■ お問い合わせ先

栗山町若者定住推進室 電話：0123-73-7521

F A X：0123-72-3179

アンケート調査票

1. あなた自身についておうかがいします。

問1. あなた自身について、次の各項目で、それぞれあれはまる番号に○をつけてください。

①現在の年齢	1. 20～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳 4. 50 歳以上	
②出身地	1. 栗山町 2. 栗山町以外 (都道府県 市町村)	
③栗山町の 通算居住年数	1. 20 年以上 2. 10 年以上 20 年未満 3. 5 年以上 10 年未満 4. 1 年以上 5 年未満 5. 1 年未満	
④最終学歴	1. 中学校 2. 高等学校 3. 専門学校 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()	
⑤就業状況等	1. 就業している →⑤-1へ 2. 無 職 3. 学 生 4. その他 ()	
⑤ - 1	I 雇用形態	1. 正社員・正規職員 2. 嘱託・契約社員 3. 派遣社員 4. パート・アルバイト 5. 自営業（雇人あり） 6. 自営業（雇人なし） 7. 自営業の手伝い 8. その他 ()
	II 業種等	1. 農林業 2. 建設業 3. 製造業 4. 卸・小売業 5. 公務 6. サービス業 7. その他 ()
	III 勤務先	1. 栗山町内 2. 岩見沢市内 3. 長沼町内 4. 由仁町内 5. 南幌町内 6. 夕張市内 7. 札幌市内 8. 江別市内 9. その他 ()
	IV 勤務先の 従業員数	1. 5 人未満 2. 5 人以上 10 人未満 3. 10 人以上 30 人未満 4. 30 人以上 100 人未満 5. 100 人以上 300 人未満 6. 300 人以上 500 人未満 7. 500 人以上

⑥ 昨年の年収	1. なし 2. 100 万円未満 3. 100 万円以上 200 万円未満 4. 200 万円以上 300 万円未満 5. 300 万円以上 400 万円未満 6. 400 万円以上 500 万円未満 7. 500 万円以上 600 万円未満 8. 600 万円以上 700 万円未満 9. 700 万円以上
---------	---

➡ ※未婚の方は問3へ

2. 結婚をされている方に、配偶者についておうかがいします。

問2. あなたの配偶者について、次の各項目で、それぞれあれはまる番号に○をつけてください。

① 配偶者の 現在の年齢	1. 19 歳以下 2. 20～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳 5. 50 歳以上
② 配偶者の出身地	1. 栗山町 2. 栗山町以外 (都道府県 市町村)
③ 配偶者の栗山町の 通算居住年数	1. 20 年以上 2. 10 年以上 20 年未満 3. 5 年以上 10 年未満 4. 1 年以上 5 年未満 5. 1 年未満
④ 配偶者の最終学歴	1. 中学校 2. 高等学校 3. 専門学校 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()
⑤ 配偶者の就業状況 等	1. 就業している →⑤-1へ 2. 無 職 3. 学 生 4. その他 ()

⑤ ー 1	I 雇用形態	1. 正社員・正規職員 2. 嘱託・契約社員 3. 派遣社員 4. パート・アルバイト 5. 自営業（雇人あり） 6. 自営業（雇人なし） 7. 自営業の手伝い 8. その他（ ）
	II 業種等	1. 農林業 2. 建設業 3. 製造業 4. 卸・小売業 5. 公務 6. サービス業 7. その他（ ）
	III 勤務先	1. 栗山町内 2. 岩見沢市内 3. 長沼町内 4. 由仁町内 5. 南幌町内 6. 夕張市内 7. 札幌市内 8. 江別市内 9. その他（ ）
	IV 勤務先の従業員数	1. 5 人未満 2. 5 人以上 10 人未満 3. 10 人以上 30 人未満 4. 30 人以上 100 人未満 5. 100 人以上 300 人未満 6. 300 人以上 500 人未満 7. 500 人以上
⑥配偶者の 昨年年収		1. なし 2. 100 万円未満 3. 100 万円以上 200 万円未満 4. 200 万円以上 300 万円未満 5. 300 万円以上 400 万円未満 6. 400 万円以上 500 万円未満 7. 500 万円以上 600 万円未満 8. 600 万円以上 700 万円未満 9. 700 万円以上

3. あなたのお住まいとご家族についておうかがいします。

問3. あなたのお住まいとご家族について、次の各項目で、それぞれあれはまる番号に○をつけてください。

①住所		１．栗山小学校区 松風２～４丁目、中央１～４丁目、錦１～４丁目、朝日２～４丁目 桜丘１～３丁目、富士、森、鳩山、雨煙別、北学田、中里及び湯地の一部 ２．角田小学校区 角田、共和、三日月、阿野呂、旭台、湯地・中里・杵臼・大井分・桜山の一部 ３．継立小学校区 南学田、継立、日出、御園、南角田、円山、滝下、桜山・杵臼・大井分の一部
②現在のお住まい		１．あなた又は配偶者の持ち家 ２．親の持ち家又は親が借りている住宅に同居 (家賃又は生活費の支払あり) ３．親の持ち家又は親が借りている住宅に同居 (家賃又は生活費の支払なし) ４．賃貸住宅（１戸建て） ５．賃貸住宅（アパート・マンションなど） ６．公営・町営住宅 ７．社宅・社員寮・公務員住宅 ８．その他 （ ）
③同居している方 ※すべてに○		１．配偶者 ２．子ども（ 人） →③－１へ ３．父母 ４．祖父母 ５．一人暮らし（独身） ６．単身赴任 ７．その他（ ）
③－ １	同居している 子ども ※該当するすべてに○と（ ） の中に人数	１．就学前（ 人） ２．小学生（ 人） ３．中学生（ 人） ４．高校生（ 人） ５．大学生（短大・大学院・高専・専門学校など含む） ６．社会人・アルバイト等 ７．無職 ８．その他（ ）

4. 未婚化・晩婚化についておうかがいします。

問 4. おいくつで結婚されましたか、又はおいくつまでに結婚したいですか。

既婚の方は夫婦の結婚した年齢を記載し、未婚の方は次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

【既婚者】 夫 (歳) 妻 (歳)

【未婚者】

1. 25歳まで 2. 30歳まで 3. 35歳まで 4. 40歳まで

5. 45歳まで 6. 結婚はしたいが、特に決めていない

7. 結婚をしたいと思わない

8. その他（ ）

問 5. 結婚についてどのような支援があればよかった、又はあればよいと思いますか。
次からあてはまる番号を三つ選んで○をつけてください。

次からあてはまる番号を三つ選んで○をつけてください。

1. 男女の出会いの場の提供
2. 交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催
3. 結婚に関する相談
4. 安定した雇用機会の提供
5. 夫婦がともに働き続けられるような職場の環境
6. 結婚したほうが有利となるような税制や社会保障
7. 結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援
8. 長時間労働の是正など自由な時間の確保
9. 結婚は個人の問題であるため、特に支援は必要ない
10. その他（ ）

問6. あなたは、現在の未婚化・晩婚化は何が要因だと思いますか。

次からあてはまる番号を三つ選んで○をつけてください。

次からあてはまる番号を三つ選んで○をつけてください。

1. 雇用が不安定で経済的基盤が安定しないため
2. 経済的に家庭を持って生活していけるか不安なため
3. 独身生活の方が自由なため
4. 結婚観が変化し、未婚に対する世間の見方も変わってきたため
5. 仕事と家庭生活の両立が難しいため
6. 結婚したいと思う相手になかなか巡り会わないため
7. 結婚したいと思っても、出会いの場が少なくなったため
8. 女性の経済力が向上したため
9. 結婚にメリットを感じないため
10. 仕事や趣味を優先したいため
11. その他（ ）

5. 少子化・晩産化についておうかがいします。

問7. 理想の子供の人数は何人ですか。

次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1. 0人 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5人以上

問8. おいくつでお子さんが生まれましたか、又はおいくつまでにお子さんを持ちたいですか。

お子さんがいる方は1子目が生まれた時の夫婦の年齢を記載し、お子さんがいない方は次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

【お子さんがいる方】

1子目が生まれたときの年齢 夫（ 歳） 妻（ 歳） →問9へ

【お子さんがいない方】 1子目を持ちたい年齢

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 25歳までに子どもが欲しい | 2. 30歳までに子どもが欲しい |
| 3. 35歳までに子どもが欲しい | 4. 40歳までに子どもが欲しい |
| 5. 45歳までに子どもが欲しい | 6. 50歳までに子どもが欲しい |
| 7. 子どもは欲しいが、特に決めていない | 8. 子どもを欲しいと思わない |

➡ ※お子さんがいない方は問10へ

問9. **お子さんがいる方におうかがいします。**

将来的に持つ予定の子どもの人数は何人ですか。

次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

将来的に持つ予定の子どもの人数が少ない理由は何ですか。
次からあてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 家が狭いから
3. 自分の仕事に差し支えるから
4. 子どもがのびのび育つ社会環境にないから
5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6. 高齢での出産に不安があるから
7. 育児の精神的、身体的負担が大きいから
8. 健康上の理由から
9. 欲しいけれどできないから
10. 配偶者が望まないから
11. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
12. その他（ ）

問 10. 子どもが生まれたときに育児休業を取得しましたか、又はこれから生まれたときに取得したい
と思いますか。次からあてはまる番号を選んで○をつけてください。

1. 取得した

1. ぜひ育児休業を取得したい

- －若者・子育て世代アンケート（男性）－

問 10 - 1 問 10 で、「取得しなかった」または「できれば育児休業を取得したくない」「取得したくない」を選んだ方にお聞きします。

取得しなかった、又は取得したくない理由は何ですか。

次からあてはまる番号を三つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---|-------------------|
| 1. 収入が減り家計が苦しくなるから | 2. 妻が育児休業を取るから |
| 3. 保育所等の預け先や親等のサポートがあるから | |
| 4. 職場が育児休業を取りにくい雰囲気だから | |
| 5. 職場に育児休業等の制度が整備されていないから | |
| 6. 自分の雇用形態上（パート・期間社員など）、育児休業の対象外だから | |
| 7. 育児休業を取ることで職場の評価や、昇進・配置等で不利益な扱いを受けそうだから | |
| 8. 周囲に育児休業を取っている男性はいないから | |
| 9. 妻や親族等が育児休業取得に否定的だから | 10. 手続きが面倒だから |
| 11. 仕事を優先させたいから | 12. 家事や育児に自信がないから |
| 13. 自営業だから | 14. 妻が専業主婦だから |
| 15. その他（ | ） |

問 1 1. 仕事をしながら子育てをするために必要な取組は何だと思えますか。

次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 機運の醸成 | 2. 良い事例の普及・顕彰 |
| 3. 父親の子育て参加の意識の醸成 | 4. 保育の充実 |
| 5. 企業（事業所）の意識啓発 | 6. 強制力のある制度改革（育児休業取得等） |
| 7. 企業（事業所）への財政支援 | 8. 特に必要な取組はない |
| 9. わからない | 10. その他（ |
| | ） |

問 1 2. 男性の家事・育児の参加について何が必要だと思えますか。

次からあてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 長時間労働の是正すること |
| 2. 柔軟な働き方（短時間勤務・在宅勤務・フレックスタイム等）の推進、普及すること |
| 3. 男性が家事・育児に参加することへの職場（上司・同僚等）の理解 を高めること |
| 4. 男性自身が「家事・育児に積極的に関わる」という意識を持つこと |
| 5. 男性への家事・育児に関する教育を充実させること |
| 6. 育児に関する行政の支援を充実させること |
| 7. 育児参加に関する勤務先の支援を充実させること |
| 8. 男性の家事・育児の出来栄を妻が評価すること |
| 9. その他（ |
| |

7. あなたの家計についておうかがいします。

問 13. あなたの家計の1ヶ月の収入（手取額）と支出額について、各項目のあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

項目	金 額	
①1ヶ月の収入 (手取額)	1. 10万円未満 3. 15万円～20万円未満 5. 25万円～30万円未満 7. 35万円以上	2. 10万円～15万円未満 4. 20万円～25万円未満 6. 30万円～35万円未満
②住居費 家賃・住宅ローン返 済など	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満
③食費	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満
④水道光熱費	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満
⑤通信費	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満
⑥被服費 日用品費	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満

項目	1ヶ月の支出額	
⑦医療費 ※窓口負担額で選んでください	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満
⑧子どもに係る教育費 学費・学習塾費・教材費・習い事・少年団・保育料・保育サービス利用負担など	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満
⑨車両費 自動車ローンの返済・ガソリン代など	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満
⑩その他 交通費・交際費・教養娯楽費・こづかい・雑費など	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満
⑪子どもの教育に係る貯蓄 教育資金の積立・学資保険など	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満
⑫その他の貯蓄	1. なし 3. 1万円～2万円未満 5. 3万円～4万円未満 7. 5万円以上	2. 1万円未満 4. 2万円～3万円未満 6. 4万円～5万円未満

問 1 4. あなたの家計で、負担が大きいと感じている項目は何ですか。

次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

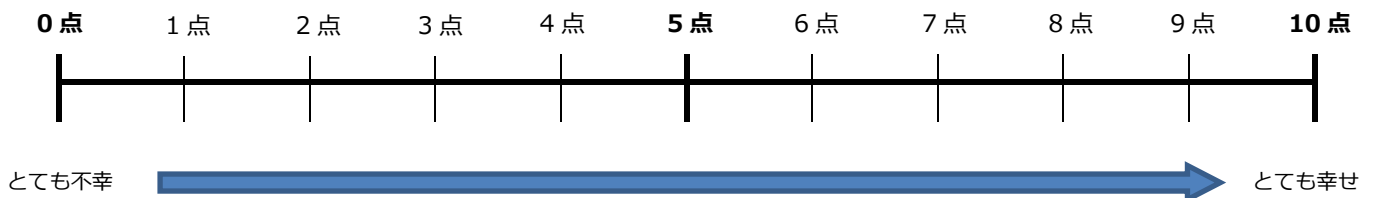
- | | | | | |
|-------------|--------|----------|--------|-------------|
| 1. 住居費 | 2. 食費 | 3. 水道光熱費 | 4. 通信費 | 5. 被服費・日用品費 |
| 6. 医療費 | 7. 教育費 | 8. 車両費 | 9. 貯蓄 | 10. 特にない |
| 11. その他 () | | | | |

問 1 5. 現在、気になっているお金の悩みは何ですか。

次からあてはまる番号を二つ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-------------|----------------|-------------|
| 1. 子どもの教育費 | 2. 貯蓄 | 3. 節約 | 4. 住宅購入・ローン |
| 5. 生命保険 | 6. 医療保険 | 7. 妊娠・出産にかかるお金 | |
| 8. 結婚にかかるお金 | 9. 老後の費用 | 10. 毎月のやりくり | |
| 11. 特にない | 12. その他 () | | |

問 1 6. 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると何点くらいになると思いますか。次からあてはまる点数を選んで○をつけてください。



問 1 7. 問 1 6 で幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか。

次からあてはまる番号を三つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------------|
| 1. 自然環境 | 2. 心身の健康状態 | 3. 生活環境 |
| 4. 衣食住の充実 | 5. 収入や資産の状況 | 6. 就業状況（仕事の有無・安定） |
| 7. 仕事の充実度 | 8. 職場の人間関係 | 9. 余暇や趣味、教養の充実 |
| 10. 時間的なゆとり | 11. 家族環境 | 12. 友人や地域での人間関係 |
| 13. その他 () | | |

8. 最後に少子化対策・定住促進に関して、栗山町へのご意見がありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ご返送をお願いします。